

会議の概要

令和6年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 (兼大玉村地域学校協働本部 第1回地域教育協議会)

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和6年5月8日（水）18:30～20:30

場 所：全体協議：1階多目的ホール

グループ協議：幼稚園：1階多目的ホール、大山小：2階農事相談室

玉井小：2階農事研修室、大玉中：1階健康相談室

進行…事務局（指導主事 渡邊 博樹）

1 開会の言葉 (コミュニティ・スクール委員会副会長 館下 愛理)

皆さん、こんにちは。これより令和6年度第1回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。1年間よろしくお願いいたします。

2 委員の任命・委嘱状の交付 (大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘)

- | | | |
|------------------------|-------|--------|
| ・新たに任命された委員の代表受領 | 区長会推薦 | 鈴木廣直 氏 |
| ・学校関係者委嘱状代表受領 | 〃 | 鈴木廣直 氏 |
| ・地域学校協働本部地域教育協議会委員代表受領 | 〃 | 鈴木廣直 氏 |

3 教育長あいさつ (大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘)

皆さん、こんばんは。本日はお疲れのところ令和6年度第1回おおたま学園CS委員会並びに地域教育協議会にご出席いただきありがとうございます。

両小学校の校長先生が代われ、また、区長会の代表が鈴木廣直さんに代わられました。只今任命、委嘱させていただいたところですが、それ以外の委員の皆様については任期2年目ということになります。昨年度までの経験とその間に考えたことや思ったことなどを生かしながら、更なる積極的な参画をお願いしたいと思っております。

ただ、一方で何事もそうですが、熱心なあまりに早急に成果を求めてしまうと副作用が強くなってしまいうこともよくあることだと思います。熟議において様々なアイデアを出していただく、このことは有意義で大切なことですが、それらのアイデアを全て実現しようというふうになってしまうと、むしろ自由な議論がしにくくなってしまふ、そんなこともあり得ると思います。「雑談のようなところからよいアイデアが生まれる」、そういった研究もあるようです。夢を育む教育を実現するために夢を語り合うような雑談を重ねて、その中で十に一つ、あるいは極端に言えば百に一つでも実現できるのであればそれでいいというくらいの思いで臨んでいただけたらと思っております。

まず第1回目の今回は、各幼稚園・学校の方向性、そして、地域学校協働活動の取り組みをご理解いただくことが中心になります。説明を受けて少しでも疑問に感じる事があれば積極的にご発言いただいて、よりよい幼稚園・学校づくりに、そして、地域づくりにご協力くださいますよう今年度も1年間よろしくお願いいたします。



4 C S委員会会長あいさつ

皆様、改めましてお晩でございます。本日は、お忙しい中お集まりをいただきましてありがとうございます。

今年度より鈴木廣直さん、大山小学校と玉井小学校の校長先生が加わり、今回が初めての会議です。1年間よろしく願いたします。

園だよりや学校だよりを見てみますと、各幼稚園や学校でいろいろな活動が充実して行われていると感じています。例えば、本日大玉中学校の2年生が見学学習で仙台市に出かけたり、今月18日（土）に行われる予定の小学校の運動会に向けての練習が盛んに行われていたりするということで、本当にコロナ前の生活に戻ってきているんだと感じています。

今日は、結構（議題等の）スケジュールがいっぱいになっています。限られた時間の中ではありますが、有意義な協議をさせていただければと思いますので、慎重審議の程よろしく願いたします。



5 自己紹介

～ 略 ～ （C S委員及び事務局職員の自己紹介）

6 本日の日程、内容、進め方及び諸連絡について

（指導主事 渡邊 博樹）

- 本日の日程について
- ・ 要項の次第に沿って進める。

7 協議 （座長 C S会長：矢吹）

（座長） それでは、暫時座長を務めさせていただきます。ご協力よろしく願いたします。

（1）について事務局の渡邊先生から説明を願いたします。

（1）令和6年度おおたま学園C S委員会の方針・年間活動計画について

＜資料に基づき説明＞

（指導主事 渡邊）

① 理念についての再確認

- ・ C Sとは … 地域・家庭・学校の架け橋となるもの
- ・ 学校運営協議会の権限

② 令和6年度の重点について

- 地域学校協働本部と連携・協働した教育活動を推進し、地域と共に歩む学校の実現、地域コミュニティの活性化等を目指す。
- C S委員会における熟議においては、各校・園の経営計画や現状、課題等を共有する機会を設け、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を充実させるための取り組みを検討する。
- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、C S委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り子どもたちの意見も取り入れたり、**保護者の参加を求めたり**するなど、子ども理解・学校理解・**家庭理解**のより一層の深まりとともに、**子ども、学校、家庭、地域**の協議の活性化を目指す。
- 学校関係者評価を実施し、学校経営・運営の改善のサイクルがより有効に機能するようにする。
- 第6回おおたまコミュニティ広場（第16回大玉村教育フォーラム）は、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として実施する。その際、保護者、村民ができるだけ多く参加できるよう、呼びかけ・周知を図る。

なお、内容・方法については、C S委員会において協議する。限られた時間で協議が深まるよう組織・運営方法を工夫する。

- 学校が主体となって企画するおおたまふれあいフェスタの運営に参画し、ねらいの達成に寄与する。
- 保護者・地域・住民の参画を促すための情報発信の方法を検討し、工夫を図る。

③ 令和6年度おおたま学園CS委員会活動計画（案）について説明

- CS委員会は年間9回実施する。
- おおたまふれあいフェスタ「スポーツ交流イベント（幼）」を6月14日（金）に開催する。
- 第3回CS委員会を8月27日（火）に開催し、おおたまふれあいフェスタの実施計画について協議する。
- おおたまふれあいフェスタ（小・中）を9～10月の平日に分散開催する。
 - ・9/27(金)大名倉山登山、安達太良山登山
 - ・9/30(月)オリエンテーリング
 - ・10/3(木)昔遊び・グラウンドゴルフ
 - ・10/11(金)ミニ運動会
- 6、9、11月実施の各校・園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にやる。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観－事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）
- CS委員の任期は2年のため、令和7年度に改選を行う。

（座長）ありがとうございました。事務局より令和6年度の方針、年間活動計画について説明がありました。皆さんから何かありますか。

（後藤副園長）オープンスクール後の学校運営協議会で玉井幼稚園が入っていないのですが、今年はないということでしょうか。

（渡邊指導主事）申し訳ありません。抜けておりましたので付け加えていただきたいと思います。

（座長）それでは次に移ります。（2）について地域学校協働本部事務局より説明をお願いします。

（2）令和6年度地域学校協働活動事業計画（案）について（地域学校協働本部事務局

＜資料に基づき説明＞

田辺 将裕、佐藤 勇人）

- ① 地域学校協働活動の目的
- ② 地域学校協働活動事業実践の方向性
- ③ 組織（CS委員が地域教育協議会委員を兼ねる）
- ④ 地域との協働活動事業内容
 - ア 連携・協働活動Ⅰ
 - ・学校支援ボランティアの基本理念「できる人が、できるときに、できることを 自らの意思で行う」（安定的・継続的な支援の実現のため）
 - ・事前の打合わせは短時間でもいいので持つこと
 - ・今年度登録者が92名に減ったが、昨年度ボランティア回数0回の方のみで、活動全般には影響がないものと思われる。今後もPR活動を続けボランティアを増やしたい。
 - イ 連携・協働活動Ⅱ
 - ・各校（園）が主体となる活動（→社会に開かれた教育課程の実現）
 - ・地域行事への参画 ・公民館事業等との連携活動
 - ウ 放課後支援活動「放課後子ども教室」
 - ・安全に充実した活動できるようにする → 各教室毎に実施（一班を35名までとする） → 大山教室、玉井教室共に2班編成
 - エ 土曜日・長期休業中等の学習支援活動
 - ・中3生未来塾…16回程度実施（長期休業中＋2学期の土曜日）
 - ・学び舎塾（夏季休業中）…学びのオアシス（小5～中2）、子ども読書リーダー養成講座（小5、6）
 - オ 家庭教育支援活動
 - ・相談活動 ・交流の場「お休みスペース」の設置 ・おはなし会、ブックスタート
 - ・広報活動『たまちゃんネル』 他

カ 研究・広報活動

- ・「Web版 地域学校協働本部だより」はこれまでのことに加えて、村内各施設や学校、幼稚園等にカラー版を掲示していただくようにする。

(座 長) ありがとうございました。短時間で理解するのは難しいところではあるのですが、何かありましたらお願いします。この事業はとても幅広い活動で、本当は1時間ぐらいの説明が必要な内容です。この後の熟議で何か意見等が出ましたら、戻ってきた際にご提案いただければと思います。

「(3) 各園・各校ごとの意見交流」に入る前に、事務局から何かあればお願いします。

(渡邊指導主事) 本日8名の委員の方が出席できない状況にあって、玉井小学校の熟議が2人だけの状況です。事務局のメンバーが入るようにしたいと思います。また、その他の学校園にも参加できればお願いします。

(座 長) それでは4会場に分かれて実施しますので移動してください。19時55分から報告となりますので、間に合うように戻っていただきたいと思います。

～ 移 動 ～

(3) 各園・各校ごとの意見交換(4会場に分かれて実施)

- ① 各園・各校から(今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他)
- ② 今後のCS委員会での協議内容について
幼稚園：1階多目的ホール
大山小：2階農事相談室
玉井小：2階農事研修室
大玉中：1階健康相談室



(4) 各園・各校からの報告 ※(3) ①②について

(座 長) 各園・各校からの報告ということで大玉中学校の久保寺校長先生からお願いします。

① 大玉中学校 (校長 久保寺 徹)

熟議というより雑談になってしまったのですが、今年度大玉中はいろんな面で昨年度から変わっている所があります。それについて現状をお話しして、質問やご意見をいただきました。

○ 「自転車通学はこれまでは2km以上だったが、2km未満も認めた」

1年生が69名で少なかったため、本年度の生徒総数は去年より25名減少しています。自転車通学者が増加したため、自力で通学する子が増え、車で送迎される子は減っています。いろんな事情があって送られてきている子もいるので、あまり多くは言えないのですが、先日ものことについて子どもたちを褒めたところでした。

事故についても質問があったのですが、転んですりむいた子が1人いますが、その他に大きな事故はありませんでした。今後も事故がないよう継続していきたいと思っています。

○ 「日課表を見直して下校を30分早くした」

去年までは“6校時+部活動”で18時30分下校だったのですが、今年度は18時下校としました。子どもたちには、「家でその30分間をどのように使ったらいいか」話しています。保護者にも知ってもらいたくて、先日開かれたPTA総会でその話をしたのですが、保護者はそこで初めて気付いたという雰囲気でした。30分間はだらっとしているとすぐになくなってしまふのですが、子どもたちにはその時間をどう使うか、繰り上げたことによって自分の生活をどのようにしていったらいいのかについて、今後も日常的に投げかけていきたいと思っています。(変化については徐々に…)

○ 「1年間のテーマを“チェンジ(変わらしましょう)”にした」

自分が理想をもったり、「こういう人になりたい」、「こういう性格になりたい」等の思いを持ちたりして、積極的に変わっていきこうということです。1年間かけて検証し、修正を加えながら、その都度CS委員会で紹介できたらなと思っています。本校には公式インスタグラムもありますので、ぜひご覧いただきたいと思っています。



② 大山小学校 (校長 澤藤 晃治)

CS委員さんは学校運営ビジョンについて十分に理解されていまして、学校の指導上の悩み(主なもの4点)についてお話しし、ご意見をいただきました。

○ 子どもたちの挨拶について

子どもたちはとても元気よく挨拶をするというところがある反面、挨拶をされてから返事のように返す声が小さい子が多くいます。小学校段階としては、人より先に大きな声でできるようにしていきたいと思っています。

○ 人権教育について

人権教育という観点で学校内を眺めると、まだまだ改善点が見受けられます。中学校であれば制服があげられると思うのですが、小学校では子どもたちが毎日目にするトイレのマークの男女の違いです。それを6年間目にするのはどうなんだろうかと感じます。できれば同じにしたいし、学校に多目的トイレが1つは欲しいと思っています。

また、先生方は、学校で名前を呼ぶ場合には(男女関わらず)「さんづけ」を実践してくれています。これからも学校全体をよく眺めて、他にも課題があると思うので、見直しできるものについてはしていきたいと思っています。

○ ICT・デジタルシチズンシップ教育 ～ 「タブレットの持ち帰りについて」

成長段階に応じて、学校の学習で使用しているタブレットを家に持ち帰って家庭学習に使用してほしいと思っています。そのためには、家庭の協力が必要になってきます。（「持ち帰って欲しい」、「関係がないことに使ってしまうので、持ち帰ってほしくない」等いろいろあるのではないかな…）

子どもたちの数十年先を見れば、できるだけ持ち帰って活用して欲しいと思っています。そのためにはルールを作ることも必要ではないか、「使用は午後9時まで」とかの制限時間を設けて扱うようにすれば、家庭でも安心して協力できるのではないかというご意見をいただきました。

○ 教室に入るのが難しい子の支援について

県内には、SSR（スペシャル・サポート・ルーム）を別に1部屋作って教員が配置されているところもあります。ただ、本校は空き教室が1つもなく作ることができない状況です。学級担任は、毎朝学級には早く行きたいが、その子のことも大切だということで大変な思いをしています。そんな場所があれば、そういう子を置くこともできるはずですので、そんな場所が欲しい、作りたいと強く思っています。

先程いろいろ相談した結果、校長室を活用できないかという話がでました。パーテーションを置いて2つに区切って使用する等工夫したいと思っています。

③ 玉井小学校 （校長 五十嵐 洋之）

○ 本校の経営ビジョンについて

全職員で取り組んでいる「よさを見取り、賞賛し、価値づける」という本校の教育方針は子どもを中心とした考えですので、これからも継続して取り組んでほしいというご意見をいただきました。

○ CSについて

地域に依頼すべきことはたくさんあるので、遠慮しないでどんどん希望を出して欲しいというあたたかな言葉をいただきました。そして、喜んで応えてくださる方がたくさんいるので、「無理かな」ではなくて、「どうやったらできるのか」を一緒に考えて、教育活動を進めていきたいと思いますというふうに言っていただきました。

どの学校現場でも働き方改革というのは課題になっていると思うのですが、そこを切り崩すのがヒントになるのではないかと思いますので、全職員で共有を図って、働き方改革という観点からもCSを効果的に活用できればと考えているところです。

○ 子どものことで気になること

子どもの学力の実態につながることでありますが、主語のない会話が多くなっているという話をお聞きしました。やはり、論理的に考える力、それを表現する力、相手に分かりやすく表現する力、そういったものを育んでほしいというご意見もいただきました。

また、運動に関しても、スキップができなかったり、難しい動きができなかったり、基本的な筋力・体幹、そういったものが低下している傾向がありますので、教育活動全体を通して高めていければと思います。そして、それを指導できる地域ボランティアの方、CS委員の方もいらっしゃるので、これも気軽に相談して欲しいというお話をいただきました。

○ 幼・小連携について

幼児期の非認知能力の育成はとても大切で、学力以外の能力を小さいうちに高めることが重要です。結果にこだわる教育にも確かにいい面はあるのですが、そこには限界があるので、一人一人の育ちを見取り、支える教育を幼・小と連携しながら進めていく必要があるというお話をいただきました。これは、おそらく本校の課題でもあるのですが、不登校を生まない教育のヒントにもつながっていくのかなと感じています。人との関わり、他者とのつながりを経験させることが大切だということで、これもCSの意義でもあるのかなと思いますので、その辺もこれからの活動につなげていきたいと思っています。

本校は新たに8名の教職員が入りました。CSの制度自体、またその効果の理解が不足している面もあると思いますので、教職員の研修の時間を確保しながら、さらに理解を進めていきたいと思っています。CSとの連携を図りながら、本校の今年の漢字「楽」の教育活動につな

げていければと考えております。

(座 長) 困った時にはC Sのメンバーに声をかけてもらえばとんでいきますのでよろしくお
願いしたいと思います。

④ 大山幼稚園・玉井幼稚園 (副園長 二瓶 博子) (副園長 後藤 弥和子)

大山幼稚園と玉井幼稚園はふれあいフェスタについての協議を行いました。

運営ビジョンは、前回の会議で承認いただいておりますので、今回は6月14日(金)
に行う「おおたまふれあいフェスタ『スポーツ交流イベント』」の計画案について話し合い、
両幼稚園のC S委員の方と一致団結してやっていこうということになりました。

「スポーツ交流イベント」のチームで、子どもたちと地域の方々と楽しく、けがなく、事
故なくできるように進めていきたいと考えています。また、C S委員の方には、前日の午後
に来て頂けるのであれば準備のお手伝いをお願いします。その時に細かな最終打合せをしな
がら進めていければと思います。また、何かありましたらご協力をよろしくお願いします。

(5) 全体共有

(座 長) ありがとうございます。全体共有ということで、ここまで確認しておきたいこと
等皆さんからありましたらお願いします。全体を通してでも構いません。

大丈夫でしょうか。

(C S 委員) ~ 意見等がない様子~

(6) その他 特になし

(座 長) それではこれで協議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

9 連絡事項

(指導主事 渡邊)

(1) おおたまふれあいフェスタについて

- ・資料に基づき概要説明(6つのイベント~昨年度と同様~)
→平日の分散開催なので、どの活動も9時からスタート可能
- ・C S委員の所属希望書の提出(現段階で、できれば本日中に提出してほしい)
→最低1つはご協力いただきたい(2つ以上もOK)

(2) その他 特になし

10 閉会の言葉

(C S 委員会副会長 吉田 都)

皆さまお疲れ様でした。以上をもちまして令和6年度第1回おおたま学園C S委員会を終わ
りたいと思います。お気をつけてお帰りください。

